

ガザ地区に対するイスラエルの攻撃の停止と

即時停戦を求める決議

藤枝市議会は、ウクライナ戦争が続く中、ハマスの攻撃に対するイスラエル軍の応酬が深刻な人道危機を引き起こしていることに深い憂慮を表明する。ガザ地区では、無辜の市民、特に子供や女性が大規模な攻撃の犠牲となり、数多くの生命が奪われている。非核平和都市を宣言する藤枝市は、すべての人類の福祉と発展のために努力している。

国連総会では「人道的休戦」を求める決議が多数の国によって支持され、国際社会はガザ地区の子どもたちの人道状況改善を求める声を上げている。G7 外相会合では、ガザ地区の人道危機への対応として「人道的休止」と「人道回廊の設置」を支持する緊急声明が発表された。

藤枝市議会は、これらの国際的な動きに基づき、以下を決議する。

1. 一般市民への攻撃や非人道的行為をいかなる理由であれ正当化できない。
2. 国際法に基づき、事態の早期鎮静化と人道状況の改善を図ること。
3. イスラエルによるガザ地区への攻撃を直ちに停止し、即時に停戦に入るよう強く求める。

藤枝市議会は、市民と共に、恒久平和に向けた努力を重ね、ガザ地区の平和の早期実現を切に願う。

以上、決議する。

令和5年12月14日

藤枝市議会